

日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾

(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳

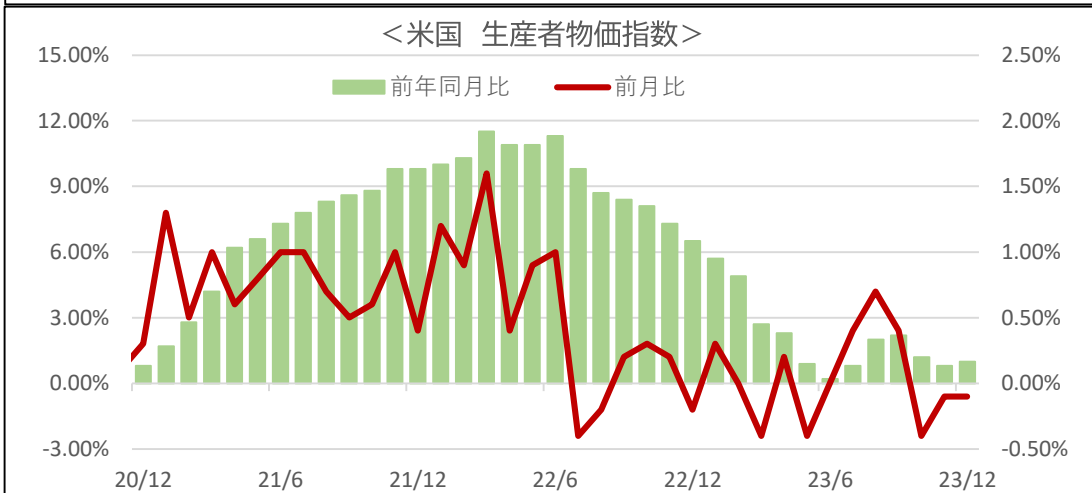
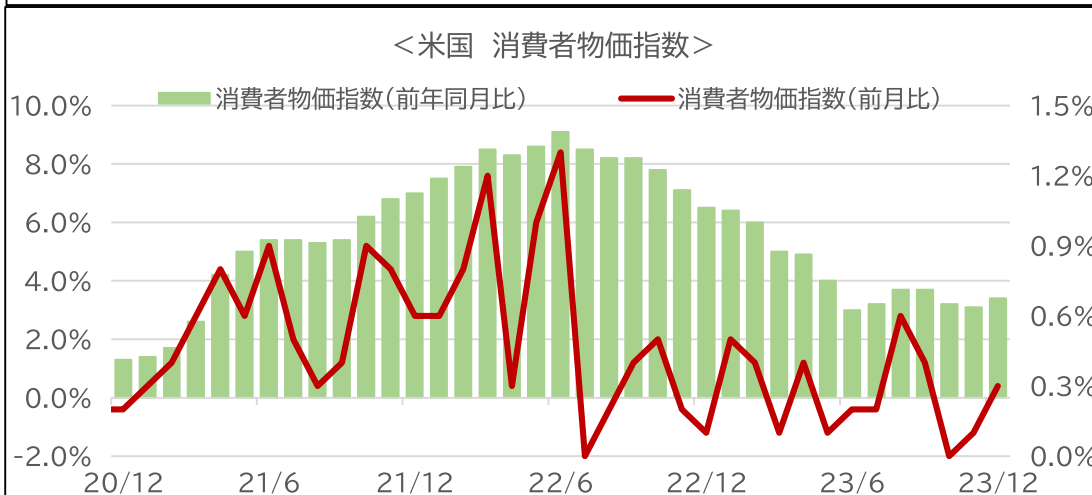
12月米国 物価状況

2024/1/15 第 81 号

朝日田コーポレーション

●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp

●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:



(資料)米国労働省資料より作成。

米国の12月消費者物価指数は、水準を示す前年同期比で+3.4%となった。22年半ばをピークに、23年前半までは順調に上昇幅を縮小したものの、その後はほぼ横ばいでの推移となっている。また、方向性を示す前月比は+0.4%と上昇の兆しがみられ、インフレ圧力の根強さがみられる。一方、川上の物価状況である生産者物価指数は、エネルギー価格の趨勢に影響を受けながらも鈍化傾向が続いており、消費者物価も次第に上昇幅を縮小していく可能性が高い。ただし、FRBが12月の会合で本局面での利上げ打ち止めを示唆したことから、今後の利下げを見込んで過度に消費が過熱し、インフレ率低下の阻害要因となる可能性がある点には注意が必要である。